

世界のデング熱流行状況(更新 6)

2010年4月20日 ProMED 情報

(1) オーストラリア(北クイーンズランド州 North Queensland)[The Sydney Morning Herald]

4月16日、クイーンズランド州保健局は、タウンズビル市郊外の北区とDeeragunの2名の女性が、デング熱ウイルス2型と診断されたことを確認しました。この2名の患者は、現地その発生としては、昨年12月以来の患者とのことです。2名の患者の居住地は10km離れており今後新たな患者が見つかる可能性があります。

(2) コモロ諸島、タンザニア[Euro Surveillance Volume 15/Issue 15 Article]

2月下旬から4月上旬にかけて、フランスとスウェーデンで、コモロ諸島とザンジバル Zanzibar への旅行者から1名のデング出血熱患者と4名のデング熱患者が報告されました。

(3) マヨット島 Mayotte [Institut de veille No.2 Week 14]

島内のいくつかの場所の医師よりデング熱様症状を呈する患者が発生しているとの報告を受け調査を行ったところデングウイルス3型が診断されました。最初の患者は、3月10日発生しました。4月14日現在、島内で、コモロ諸島からの10名を含む11名の輸入例とプティ・テール Petite Terre からの1名を含む3名の島内のデング熱患者合計14名が確認されました。以上に加えて、デング熱疑い例が10名が存在します。重症例はありません。

(4) ブラジル(サン・パウロ州)[Agora]

サン・パウロ州東部地域のButantaとRio Pequeno 地区では、デング熱が流行しています。今年になって学校保健センターは、少なくとも40名のデング熱患者を確認しました。

(5) ブラジル(ミナス・ジェライス州 Minas Gerais)[R7]

同州の今年これまでのデング熱死亡患者数は17名です。昨年は24名のデング熱死亡患者が発生しました。都市では、毎月デング熱患者が増加しています。1月に、167名、2月に564名報告され、4月14日現在、合計で811名の患者が確定診断されました。

(6) ブラジル(マト・グロッソ州 Mato Grosso)[Circuito Mato Grosso]

マト・グロッソ州で報告されたデング熱患者数は今年4月15日までで32,551名に達しました。このうち768名は重症と報告され、そのうち21名は確定診断されましたが、18名については調査中です。なお、昨年1月～4月15日までは、同州で報告されたデング熱患者数は10,152名でした。

(7) ブラジル(パラナ州 Parana)[G1]

同州保健当局によると、4月13日までに5名がデング熱で死亡しました。4月15日に6,000名以上のデング熱患者が確定診断されました。多数の患者を出している都市は、フォス・ド・イグアス Foz do Iguacu 市 1,215名、Medianeira 市 823名、マリンガ Maringa 市 649名です。

(8) ベネズエラ[Noticias 24]

4月18日、地方メディアによると、デング熱患者は、今年3ヵ月で昨年の同時期と比較して85%増加しました。4月3日までに22,152名のデング熱患者(昨年の同時期は11,936名発生)が報告されました。昨年は1年間で61,688名のデング熱患者が報告されました。

(9) コロンビア [Yahoo Salud、Noticias]

4月14日、同国 Salud の国立衛生研究所(INS)は、4月8日までに49,122名のデング熱患者が発生したと報告しました。そのうち3,916名(約8%)は重症のデング熱またはデング出血熱 という報告です。45名はデング出血熱で死亡し、32名は検査中で、20名は否定されたと報告されました。